

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 **DMC-FZ1000**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。**
 - さらに詳しい操作説明は、本機のDVD(付属)に記録された「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。(87ページ)
- 取扱説明書、取扱説明書 活用ガイドは、スマートフォンにダウンロードして読むこともできます。(89ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

準備

基本

撮る・見る

Wi-Fi

その他・Q&A

保証書付き

SQT0195-2
F0614NK2074

目次

準備

ご使用の前に	9
付属品	10
各部の名前と働き	11
準備	13
レンズフードを付ける	13
レンズキャップを付ける	13
ショルダーストラップを付ける	13
モニター	14
ファインダー撮影について	14
バッテリーを充電する	15
バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す	15
カードをフォーマット(初期化)する	16
記録可能枚数・時間の目安	16
時計を設定する	17

基本

メニューを使って設定する	18
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)	19
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)	19
本機の構え方について	19
撮影モードを選ぶ	20
写真を撮る	20
動画を撮る	21
撮影画面の表示情報を切り換える	22
再生する	23
写真を見る	23
動画を見る	24
再生画面の表示情報を切り換える	24
画像を消去する	25

撮る・見る

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)	26
手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)	27
階調豊かな写真に合成する(iHDR)	27

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)	28
明るさや色合いを変えて撮る	28
お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)	29
絞り/シャッタースピードを決めて撮る	30
絞り優先 AE モード	30
シャッター優先 AE モード	30
マニュアル露出モード	30
絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	31
絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)	32
4K 動画を撮る	32
撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)	33
画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)	34
お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)	34
お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)	34
ホワイトバランスを調整する	35
画質とサイズを設定する	35
画像の横縦比を選ぶ	35
記録画素数を設定する	36
画像の圧縮率を設定する(クオリティ)	36
自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)	37
フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)	37
手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)	38
近づいて撮る(マクロ撮影)	39
露出やピントを固定して撮る(AF/AE ロック)	39
露出を補正して撮る	40
ISO 感度を設定する	40
明るさの測り方を選ぶ(測光モード)	41
シャッター方式を設定する	41
ドライブモードを選ぶ	42
連写する	42
露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)	43



「安全上のご注意」を必ずお読みください（4～8ページ）

セルフタイマーを使って撮る	43
一定の間隔で自動的に撮影する （インターバル撮影）	44
ストップモーション動画の作成 （コマ撮りアニメ）	45
被写体・目的に合わせた機能	46
操作音と発光の禁止を一括で設定する （サイレントモード）	46
画面の中心を表示する （センターマーカー表示）	46
白飛びのおそれがある部分を確認する （ゼブラパターン表示）	46
手ブレを補正する	47
ズームを使って撮る	47
フラッシュを使って撮る	48
フラッシュモードを切り換える	48
再生メニューを使う	49
RAW 現像	49
動画分割	50

Wi-Fi

Wi-Fi® 機能を使う	51
スマートフォン/タブレットと つないで使う	52
スマートフォンアプリ「Image App」を インストールする	52
スマートフォン/タブレットと接続する	52
スマートフォンで撮影する （リモート撮影）	56
カメラの画像を再生する	56
カメラの画像を保存する	56
カメラの画像をSNSへ送信する	57

無線アクセスポイントを経由して パソコンと接続する	58
------------------------------------	----

その他・Q&A

テレビで見る	60
写真や動画をパソコンに残す	61
付属のソフトウェアを使う	61
別売品のご紹介	64
モニター/ファインダーの表示	65
メッセージ表示	70
メニュー一覧	71
撮影	71
動画	72
カスタム	73
セットアップ	74
再生	75
Q & A 故障かな？と思ったら	76
使用上のお願い	80
無線LAN使用上のお願い	84
仕様	85
さらに詳しい説明は	87
CLUB Panasonic ご愛用者登録の ご案内	88
パナソニックスマートアプリのご案内	89
保証とアフターサービス （よくお読みください）	90
無料修理規定	95
保証書	裏表紙

本文中の記号について

MENU： [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定を示しています。



カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。



上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。



特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[...]

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければ
ならない内容です。



気をつけていた
だく内容です。



危険



バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものを使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・電源を切り、販売店にご相談ください。



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止 ● 本体やチャージャーには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。



メモリーカードやホットシューカバーは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

長時間で使用する場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告



航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※ やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない
誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害などの原因になることがあります。
● 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いた
まま使わない・テープなどでふさがない
やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
● 発光直後は、しばらく触らないでください。



次のような場所に放置しない
火災や感電の原因になることがあります。
● 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
● 油煙や湯気の当たるところ
● 湿気やほこりの多いところ



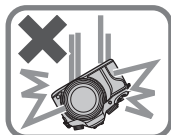
次のときは、バッテリーを取り出す
バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火
災の原因になることがあります。
● 長期間使わないとき
● お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…



本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- レンズ部やモニターを強く押さえつける



- 持ち運ぶときや再生するときは、レンズを収納した状態でお使いください。

- 本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動であり故障ではありません。



本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

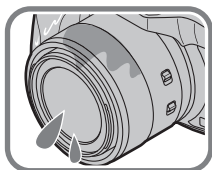
ほこり・水・砂などの多い場所での使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

準備

■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)…



- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

- 露付きが起こった場合、電源を切り、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

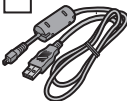
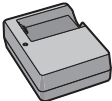
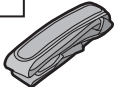
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品



付属品をご確認ください。

記載の品番は2014年6月現在のものです。変更されることがあります。

☐ 	バッテリーパック DMW-BLC12 (本文中では バッテリー と表記します) ●充電してからお使いください。	☐ 	USB 接続ケーブル K1HY08YY0031
☐ 	バッテリーチャージャー※ DE-A79A (本文中では チャージャー と表記します)	☐ 	DVD ●ソフトウェア ●取扱説明書 活用ガイド (パソコンにインストールしてお使いください)
☐ 	レンズフード SYQ0081	☐ 	ショルダーストラップ VFC4453
☐ 	レンズキャップ SYQ0103	☐ 	ホットシューカバー VYF3522 (お買い上げ時は本機に装着されています)

※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC6)をお買い求めください。

- カードは別売です。
- 別売品については64ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

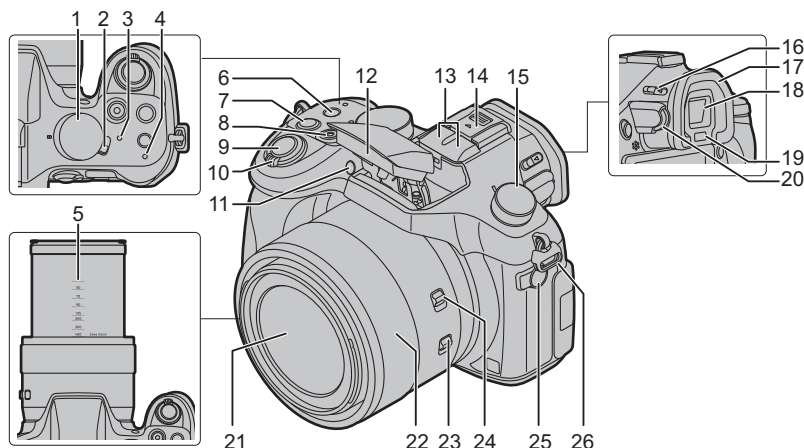
付属品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

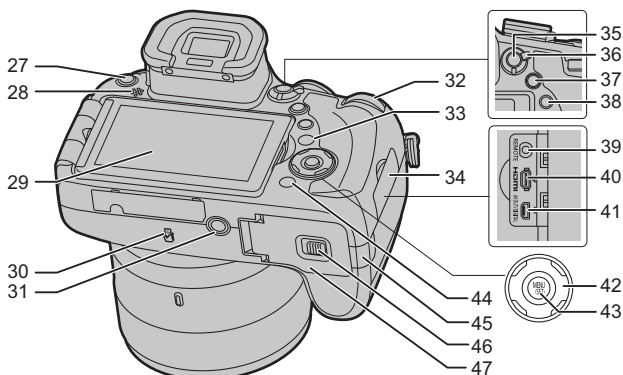
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

各部の名前と働き



1	モードダイヤル(P20)	14	ホットシュー(ホットシューカバー)
2	電源スイッチ(P17)		ドライブモードダイヤル(P42)
3	電源表示ランプ(P17)		□:単写(P20)/:連写(P42)/
4	Wi-Fi®接続ランプ(P51)	15	:オートブラケット(P43)/
	焦点距離表示 (35mm フィルムカメラ換算)		:セルフタイマー(P43)/
5	●画像横縦比 [3:2] 時の数値になります。 (動画撮影時は、画面に表示される焦点 距離を参考にしてください)		:インターバル / コマ撮り撮影 (P44、45)
6	ワイファイ [Wi-Fi] ボタン(P51)/ ファンクション [Fn2] ボタン (P19)		フラッシュオープンレバー(P48)
7	ファンクション [Fn1] ボタン(P19)	16	●フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可 能になります。
8	動画ボタン(P21)	17	アイカップ(P80)
9	シャッターボタン(P20)	18	ファインダー(P14)
10	ズームレバー(P47)	19	アイセンサー(P14)
11	セルフタイマーランプ(P43)/ AF補助光ランプ	20	視度調整ダイヤル(P14)
12	フラッシュ発光部(P48)	21	レンズ面
	ステレオマイク	22	マニュアルリング(P38、47)
13	●マイクを指で塞がないようお気をつけく ださい。音が記録されにくくなります。	23	O.I.S. スイッチ(P47)
		24	マニュアルリング切換スイッチ (P38、47)
		25	マイク [MIC] 端子
		26	ショルダーストラップ取り付け部(P13)



27	ファンクション [LVF] ボタン(P14)/ [Fn5] ボタン(P19)	38	[▶] (再生) ボタン(P23)
28	スピーカー ●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。	39	リモート [REMOTE] 端子
29	モニター(P14)	40	[HDMI] 端子(P60)
30	NFC アンテナ部 [📶] (P54)	41	アウト デジタル [AV OUT/DIGITAL] 端子(P60、63)
31	三脚取り付け部 ●ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。	42	カーソルボタン ●本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。 ▲(上)/ISO ボタン(P40) ▼(下)/AF 📷 ボタン(P39) ◀(左)/オートフォーカスモード ボタン(P37) ▶(右)/ ホワイトバランス WB ボタン(P35)
32	後ダイヤル ●本書では後ダイヤルの操作を次のように説明しています。 	43	メニュー セット [MENU/SET] ボタン(P18)
33	ディスプレイ [DISP.] ボタン(P22、24) ●押すごとにモニターの表示を切り換えます。	44	ファンクション [Fn4] ボタン(P19)
34	端子カバー	45	DC カプラー扉 ●ACアダプターを使用するときは、当社製の AC アダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。
35	ロック [AF/AE LOCK] ボタン(P39)	46	開閉レバー(P15)
36	フォーカスモードレバー(P37、38)	47	カード/バッテリー扉(P15)
37	クイックメニュー [Q.MENU] ボタン(P19)/ ファンクション [Fn3] ボタン(P19)		

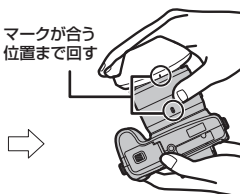
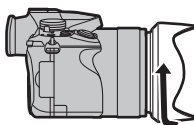
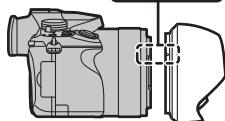
準備

レンズフードを付ける

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。
- 電源が切れていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。



マークが合う
位置まで回す



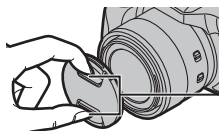
- 1 レンズフードの取り付けマークをレンズ先端の取り付け位置の少し上に合わせる
- 2 レンズフードを矢印の方向に回してはめ込む
- 3 いったんマークの手前で止まりますが、“カチッ”と音がするまで回し、本機底面のマークを合わせる
 - 確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。

- レンズフードを一時的にはずして運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けることをお勧めします。撮影時は元の向きに付け直してください。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。



レンズキャップを付ける

- 電源を切っているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。
- 電源を入れているときは、必ずレンズキャップを外してください。
- レンズキャップの紛失にお気をつけください。

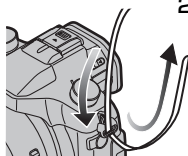


ここを
つまんで
外す

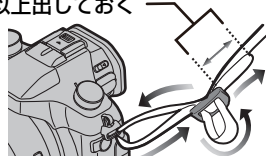
ショルダーストラップを付ける

- 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1 ショルダーストラップ
取り付け部に通す
- 2 留め具に通して留める
 - ねじれないようにもう片方にも付けてください。

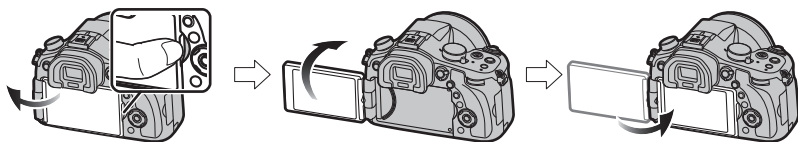


2cm以上出しておく



モニター

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。下図のようにしてモニター面を表にします。



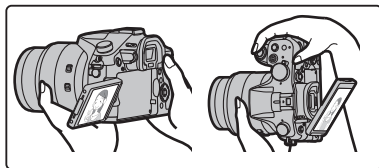
- 1 モニター右側のへこみ部分に指をひっかけて開く(最大 180° 開きます)
- 2 レンズ方向に 180° 回転させる
- 3 元の位置へ閉じる

- モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。
- モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

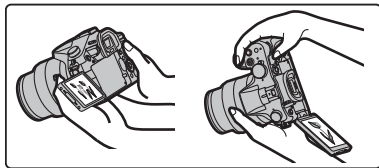
■ フリーアングル撮影

モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影



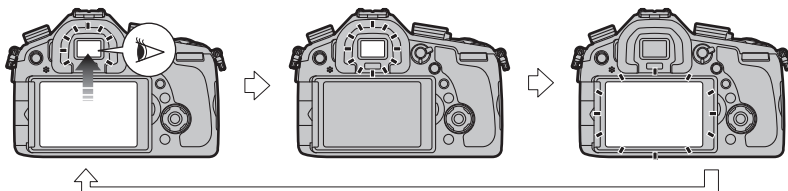
ファインダー撮影について

[LVF] ボタンを押すと、モニターとファインダーの表示が切り換わります。

ファインダー/モニター自動切換※

ファインダー表示※

モニター表示



※ カスタムメニューの[アイセンサーAF]を[ON]に設定しているときは、アイセンサーが動くとカメラが自動的にピント合わせを行います。

■ 視度調整について

使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整する

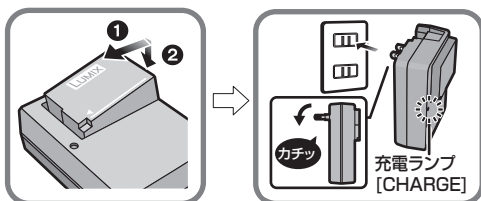


バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーはDMW-BLC12です。

- 1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む
- 2 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。



■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

● 点滅するときは

- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電することをお勧めします。

■ 充電時間について

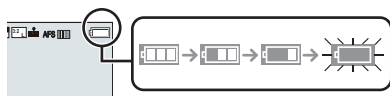
充電時間

約 140 分

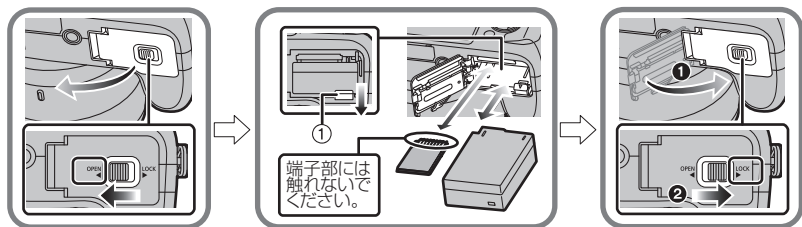
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

■ バッテリー残量表示について

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(電源表示ランプも点滅します)
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。



バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す



- バッテリー:
向きに気をつけて、ロック音ができるまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。
- カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

準備

■ 本機で利用できるカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。

(本書では、これらをカードと記載しています)

SDメモリーカード(8 MB~2 GB)/miniSDカード*/microSDカード*

SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB)/microSDHCカード*

SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とスピードクラスについて

動画の[記録方式](P21)や[画質設定](P21)によって必要なカードが異なります。以下のSDスピードクラスやUHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

[記録方式]	[画質設定]	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS④ ④
MP4	FHD/HD/VGA		
MP4	4K/ ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	U3

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が10000枚以上の場合は、[9999+]と表示されます。
- 画像横縦比 [3:2]、クオリティ [L] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(20M)	175	720	2910	5810
EX M(10M)	320	1310	5310	10510
EX S(5M)	560	2270	9220	17640

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

●記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

●記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	7m00s	35m00s	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]	12m00s	55m00s	4h05m	8h15m
[FHD/24M/30p] [FHD/24M/24p]	9m00s	40m00s	2h50m	5h50m

●記録方式 [MP4] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[4K/100M/30p]	1m00s	8m00s	40m00s	1h20m
[FHD/28M/60p]	7m00s	34m00s	2h25m	5h00m
[FHD/20M/30p]	9m00s	45m00s	3h15m	6h40m
[HD/10M/30p]	20m00s	1h25m	6h20m	12h45m
[VGA/4M/30p]	38m00s	3h15m	13h00m	26h00m

●[AVCHD] の動画の場合:

連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。

●[MP4] のファイルサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の動画の場合:

連続記録時間が29分59秒を超える場合やファイルサイズが4 GBを超える場合は、記録を停止します。

– [FHD] は、ファイルサイズが大きいため 29 分 59 秒より前に撮影を終了します。

●[MP4] のファイルサイズが [4K] の動画の場合:

連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。(ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます)

時計を設定する

●お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを [ON] にする

●電源が入ると電源表示ランプが点灯します。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

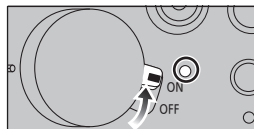
3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

4 [MENU/SET] ボタンを押す

●確認画面が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

●ワールドタイムの[ホーム]の設定を促すメッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

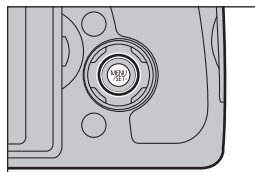
5 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



メニューを使って設定する

例) 撮影メニューで、[クオリティ]を[]から[]に設定する

1 [MENU/SET] ボタンを押す



[] 撮影(P71～)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[] 動画(P72)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[] カスタム(P73～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[] セットアップ(P74～)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[] 再生(P75)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



■ メニューを終了する

撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [ / ] ボタンを押す

- 撮影時はシャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

■ 他のメニューに切り換えるには

例) 撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

1 ◀ ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

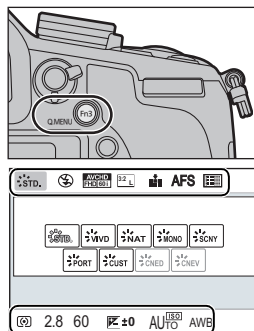


よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

●モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

- 1 [Q.MENU] ボタンを押して、
クイックメニューを表示する
- 2 後ダイヤルを回してメニュー項目を選び、
後ダイヤルを押す
- 3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ
- 4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押して
メニューを終了する



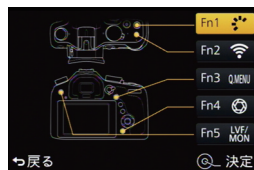
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンに、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **Fn** [カスタム] → [Fnボタン設定]

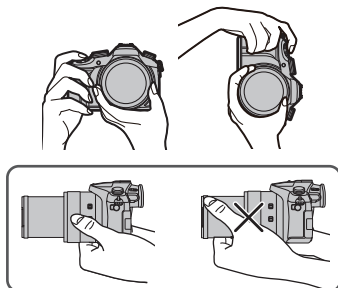
- 2 ▲/▼ ボタンで [撮影時設定] または [再生時設定] を選
び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 3 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタ
ンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 4 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET]
ボタンを押す
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻す
には、[デフォルトに戻す] を選んでください。



本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

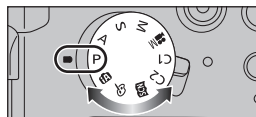
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。
レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。



撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



P インテリジェントオートモード(P26)	カメラにおまかせで撮影します。
P+ インテリジェントオートプラスモード(P26)	インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。
P プログラム AE モード(P29)	カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A 絞り優先 AE モード(P30)	絞り値を決めて撮影します。
S シャッター優先 AE モード(P30)	シャッタースピードを決めて撮影します。
M マニュアル露出モード(P30)	絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
M クリエイティブ動画モード(P32)	絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。4K 動画の撮影など、すべての動画の機能が使える撮影モードです。 ※写真撮影はできません。
C1 C2 カスタムモード(P34)	あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN シーンガイドモード(P33)	撮影シーンに合わせて撮影します。
C クリエイティブコントロールモード(P34)	画像効果を確認しながら撮影します。

写真を撮る

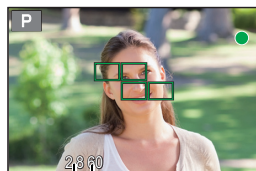
- ドライブモードダイヤルを [□] (単写) に合わせる。



1 撮影モードを選ぶ(P20)

2 シャッターボタンを半押し (軽く押す) してピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)



絞り値 シャッタースピード



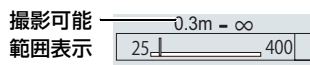
ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
電子音	ビピッ	ビピビピッ

3 シャッターボタンを全押し (さらに押し込む) して撮影する



■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。



動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。

- 動画撮影中もズーム操作ができます。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 動画撮影前に O.I.S. スイッチとマニュアルリング切換スイッチの設定をご確認ください。また、動画撮影中にそれらを誤って切り換えないようお気をつけください。
- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。



記録経過時間 記録動作表示

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

■ フォーマット、サイズ、フレームレートを設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [動画] → [記録方式]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

3 ▲/▼ ボタンで[画質設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[AVCHD] を選んだ場合

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[FHD/28M/60p] ※1	1920×1080	60p	28 Mbps
[FHD/17M/60i]	1920×1080	60i	17 Mbps
[FHD/24M/30p]	1920×1080	60i ※2	24 Mbps
[FHD/24M/24p]	1920×1080	24p	24 Mbps

※1 AVCHD Progressive

※2 センサー出力は 30 コマ / 秒です

[MP4] を選んだ場合

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[4K/100M/30p] ※3	3840×2160	30p	100 Mbps
[FHD/28M/60p]	1920×1080	60p	28 Mbps
[FHD/20M/30p]	1920×1080	30p	20 Mbps
[HD/10M/30p]	1280×720	30p	10 Mbps
[VGA/4M/30p]	640×480	30p	4 Mbps

※3 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

■ アイコンの見方

AVCHD — フォーマット
サイズ — FHD | 60i — フレームレート(センサー出力)



記録可能時間

基本

撮影画面の表示情報を切り換える

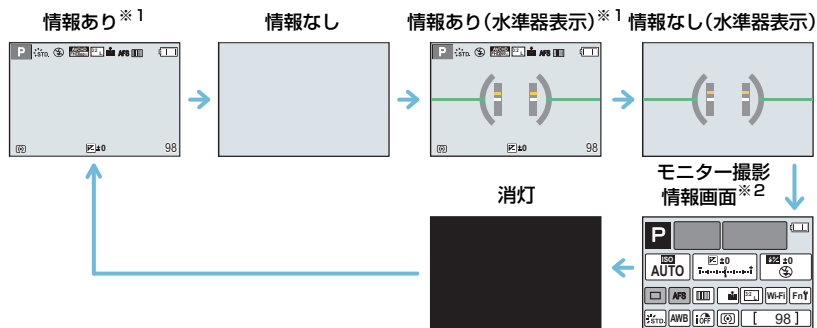
[DISP.] ボタンを押して切り換える

- カスタムメニューの[モニター表示スタイル]、[LVF表示スタイル]で、モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ[



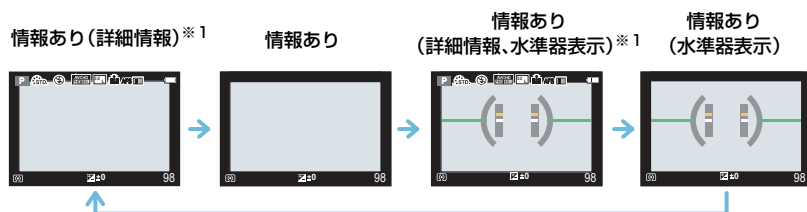
() モニタースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)



() ファインダースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(ファインダー表示での例です)



※¹ カスタムメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
また、カスタムメニューの[露出メーター]を[ON]に設定すると、露出メーターを表示させることができます。(P29)

※² カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。
モニターで撮影情報を確認しながらファインダーを使って撮影することができます。

● 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

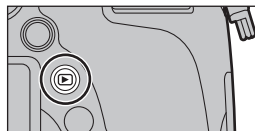
再生する

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す

2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀: 前の画像へ ▶: 次の画像へ



■ 再生を終了するには

再度 [▶] ボタンを押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

再生画面を拡大する(再生ズーム)

ズームレバーを [Q] (T) 側に回す

1 倍 ⇄ 2 倍 ⇄ 4 倍 ⇄ 8 倍 ⇄ 16 倍

- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押すと、拡大部分を移動することができます。

ズーム位置表示



基本

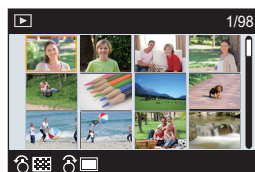
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

ズームレバーを [] (W) 側に回す

1 画面 ⇄ 12 画面 ⇄ 30 画面 ⇄ カレンダー画面表示

■ 1 画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 ズームレバーを [] (W) 側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを [] (W) 側に回してください。



動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

再生状態で動画アイコン([)が付いた画像を選び、▲ ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

▲	再生/一時停止	▼	停止
◀	早戻し再生*	▶	早送り再生*
	コマ戻し(一時停止中)		コマ送り(一時停止中)
後ダイヤル (左回し)	音量下げる	後ダイヤル (右回し)	音量上げる

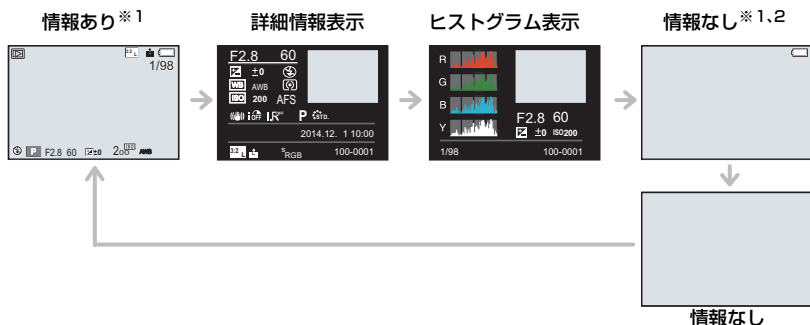
※ もう一度 ▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はDVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

再生画面の表示情報を切り換える

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- 画面は以下のように切り換わります。



※1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

※2 カスタムメニューの「ハイライト表示」を[ON]にしているときのみ表示されます。

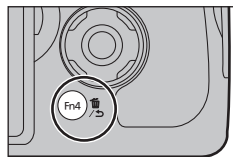
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

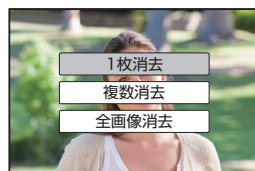
1枚消去

- 1 再生状態で消去する画像を選び、[⏮/⏭] ボタンを押す



- 2 ▲ボタンで[1枚消去]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。



基本

複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 1 再生状態で[⏮/⏭] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

- 3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[⏮/⏭]が表示されます。
もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

- 4 ([複数消去]選択時)◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。



- 消去中は電源を切らないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード:

カメラにおまかせで気軽に撮りたいときは、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うインテリジェントオートプラスモードやインテリジェントオートモードをお使いください。

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードでは、設定できる機能が異なります。(○: 設定可、×: 設定不可)

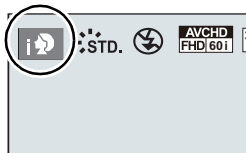
	インテリジェントオートプラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定(P28)	○	×
色合い設定(P28)	○	×
ボケ味コントロール(P28)	○	○

1 モードダイヤルを に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

2 被写体に画面を合わせる

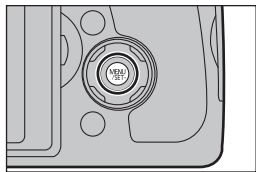
- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
- ◀ ボタンを押し、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。



■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

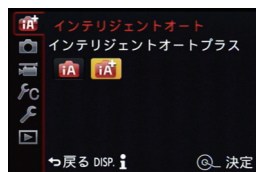
1 [MENU/SET] ボタンを押す

- ◀ ボタンを押してから ▲/▼ ボタンで  または  を選んでください。



2 ◀/▶ ボタンで または を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.] ボタンを押すと、選択されているモードの説明が表示されます。



■ 自動シーン判別について

写真撮影時

iA →	i 人物	i 風景	i マクロ	i 夜景&人物※ ¹
	i 夜景	i 手持ち夜景※ ²	i 料理	i 赤ちゃん※ ³
	i 夕焼け			

※¹ 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。

※² [i 手持ち夜景] を [ON] に設定したときのみ表示されます。

※³ [個人認証] を [ON] に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔・瞳認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

iA →	i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ
-------------	------	------	---------	-------

● どのシーンにも当てはまらない場合は **[iA]** になり、標準的な設定を行います。

■ フラッシュ

フラッシュを閉じているときは **[☺]** に、開いているときは **[iA]** (オート) に設定されます。フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で **[iA]**、**[iA]** (赤目軽減オート)、**[iA]**、または **[iA]** に設定します。

● フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P48)

■ 自動で働く機能について

カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

- 自動シーン判別/逆光補正/顔・瞳認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/Dレンジコントロール/長秒ノイズ除去/クイックAF/AF補助光/動画傾き補正

手持ちで夜景を撮る (i 手持ち夜景)

撮影モード: **[iA]** **[iA]**

[i 手持ち夜景] を [ON] に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中に **[iA]** と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン → **[撮影]** → [i 手持ち夜景] → [ON]/[OFF]

● フラッシュは **[☺]** (発光禁止) に固定されます。

階調豊かな写真に合成する (iHDR)

撮影モード: **[iA]** **[iA]**

[iHDR] を [ON] に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。

MENU ボタン → **[撮影]** → [iHDR] → [ON]/[OFF]

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード: 

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- インテリジェントオートプラスモード時は、後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。
- インテリジェントオートモード時は、後ダイヤルを押すごとに、ボケ味コントロール操作と操作の終了が切り換わります。

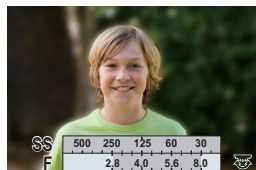
2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する



ボケ具合が大きい



ボケ具合が小さい



- ボケ具合の設定画面で  /  ボタンを押すと、設定が解除されます。

明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 

カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

明るさを設定する

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して明るさを調整する



色合いを設定する

1 ▶ ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

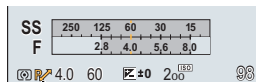
撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



プログラムシフト表示

3 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P40)が切り換わります。
- 画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまで、後ダイヤルを回してください。

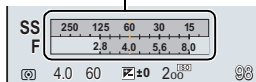


露出メーターを表示する/しない

MENU ボタン → fc [カスタム] → [露出メーター] → [ON] / [OFF]

- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.]ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。(P22)
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。

露出メーター



プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **[A]** **[S]** **[M]**

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P31)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。

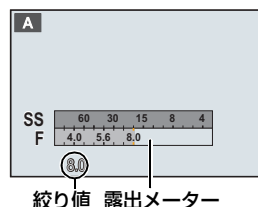
設定可能な絞り値	設定可能なシャッタースピード(秒)
F2.8 ~ F8.0	B(バルブ)*、60 ~ 1/4000 (メカシャッター使用時) 1 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時) ※ マニュアル露出モードでのみ使えます。

A: 絞り優先AE モード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

- 1 モードダイヤルを **[A]** に合わせる
- 2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

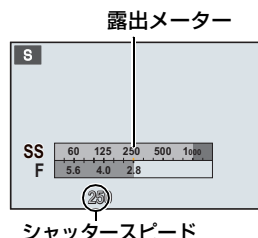


S: シャッター優先AE モード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

- 1 モードダイヤルを **[S]** に合わせる
- 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。



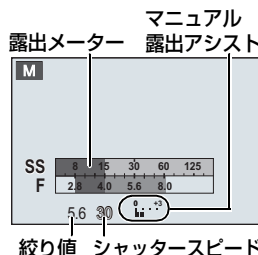
M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

- 1 モードダイヤルを **[M]** に合わせる
- 2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。



■ マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約120秒間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード:          

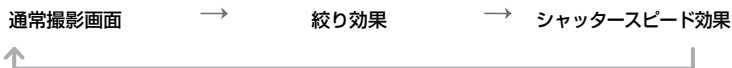
- **絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P19)

- 次の手順は、[Fn4]ボタンに[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 [Fn4] ボタンを押して確認画面を切り換える

- [Fn4] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

撮影モード: 

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [動画露出設定]

3 ▲/▼ ボタンで [P]、[A]、[S]、[M] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルを **P** / **A** / **S** / **M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

●絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

●シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを 1/60 または 1/100 に調整してください。

4K 動画を撮る

[画質設定]のサイズが[4K]の動画で記録することで、きめ細かい4K動画を撮影することができます。

- 4K 動画はクリエイティブ動画モードに設定時のみ撮影できます。
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P16)

4K 動画を撮影するには

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 動画撮影メニューの [記録方式] を [MP4] に設定する (P21)

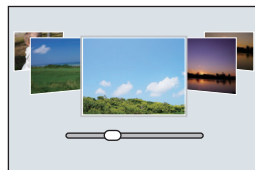
3 動画撮影メニューの [画質設定] を [4K/100M/30p] に設定する (P21)

撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)

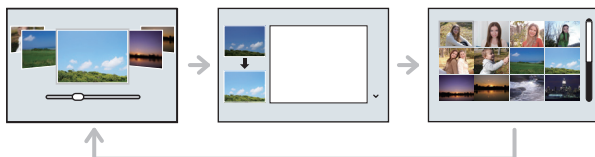
撮影モード: 

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

- 1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる
- 2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



■ シーンを選ぶ画面の表示を切り換えるには
[DISP.] ボタンを押して切り換える



■ パノラマで撮る

- 1 撮影方向を確認し、[MENU/SET] ボタンを押す

- 水平/垂直ガイドが表示されます。



撮影方向を変更するには

- 1 メニュー設定する

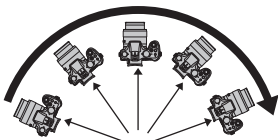
MENU ボタン →  [撮影] → [パノラマ設定] → [撮影方向]

- 2 撮影方向を選んで [MENU/SET] ボタンを押す

- 2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 3 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

- 4 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード: 

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [c] に合わせる

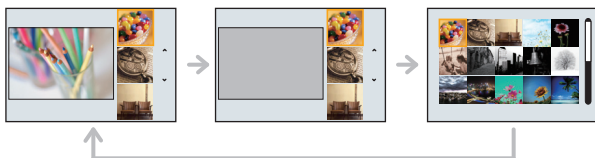
2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面の表示を切り換えるには
[DISP.] ボタンを押して切り換える



お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード:  

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。(C1、C2-1、C2-2、C2-3)

準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [カスタムセット登録]

2 ▲/▼ ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

ホワイトバランスを調整する

使えるモード：

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶ (WB) ボタンを押す



2 後ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

[AWB]	自動調整
[☀]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[🏠]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[💡]	白熱灯下での撮影時
[🔍]	フラッシュ光のみでの撮影時 ※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。
[🔧], [🔧], [🔧], [🔧], [🔧]	手で設定した設定値を使用
[🔧]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

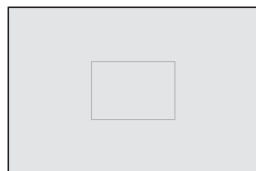


3 後ダイヤルを押して決定する

手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

- ▶ (WB) ボタンを押す
- 後ダイヤルを回して [1], [2], [3] または [4] を選び、▲ ボタンを押す
- 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET] ボタンを押す



撮
る
・
見
る

画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード：

MENU ボタン → [撮影] → [画像横縦比]

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

記録画素数を設定する

使えるモード:

MENU ボタン → [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比: [4:3] のとき

設定	画像サイズ
[L] (17.5M)	4864×3648
[EXM] (9M)	3456×2592
[EXS] (4.5M)	2432×1824

画像横縦比: [3:2] のとき

設定	画像サイズ
[L] (20M)	5472×3648
[EXM] (10M)	3888×2592
[EXS] (5M)	2736×1824

画像横縦比: [16:9] のとき

設定	画像サイズ
[L] (17M)	5472×3080
[EXM] (8M)	3840×2160
[EXS] (2M)	1920×1080

画像横縦比: [1:1] のとき

設定	画像サイズ
[L] (13.5M)	3648×3648
[EXM] (6.5M)	2592×2592
[EXS] (3.5M)	1824×1824

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード:

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ]

	画質を優先したJPEG画像です。
	標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
[RAW	RAW 画像と JPEG 画像(または)を同時に記録できます。 ^{※1}
[RAW	
[RAW]	RAW 画像のみを記録できます。 ^{※2}

※1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

※2 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

RAW 画像を編集することで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式で保存ができます。JPEG形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。

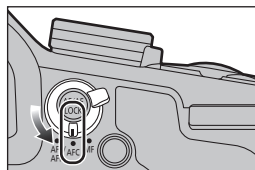
- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像することができます。(P49)
- パソコンでのRAWファイルの現像や編集には、DVD(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

- 1 フォーカスモードレバーを [AFS/AFF]
または [AFC] に合わせる
- 2 ◀() ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選
び、[MENU/SET] ボタンを押す



顔・瞳認識	人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせてます。([測光モード]を[]設定時)
追尾AF	指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)
49点	最大 49 点の AF エリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。
カスタムマルチ	49点のAFエリアから、被写体に合わせてAFエリアを選ぶことで、自由にAFエリアの形状を設定できます。
1点	中央のAFエリア内にピントを合わせます。
ピンポイント	[] より小さな点で繊細なピント合わせができます。

フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

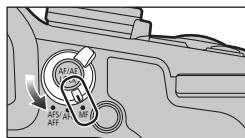
項目	被写体の動き、 撮影シーン(お勤め)	内容
AFS ※	静止している (風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF ※	動きが予測できない (子ども、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている (スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)

※ 撮影メニューまたは動画撮影メニューの[AFS/AFF]で、フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てることができます。

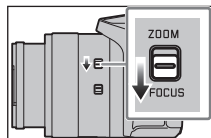
手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

使えるモード:

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる



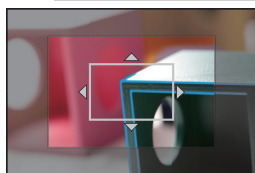
2 マニュアルリング切換スイッチを [FOCUS] に合わせる



3 ◀() ボタンを押す

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大表示する部分を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MF アシスト)
- [DISP.] ボタンを押すと拡大表示する部分は中央に戻ります。

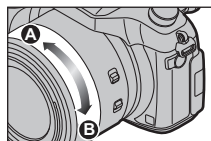


5 マニュアルリングを操作して、ピントを合わせる

A 側に回す: 近くにピントを合わせる

B 側に回す: 遠くにピントを合わせる

- マニュアルリングを操作するときに O.I.S. スイッチやマニュアルリング切換スイッチを誤って切り換ええないようお気をつけください。
- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング) カスタムメニューの [ピーキング] で、[ON]/[OFF]/[設定] を選ぶとお好みの設定に変更できます。
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド)



■ MF アシストを表示する

- マニュアルリングを回すと表示されます。
- ◀ ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて [MENU/SET] ボタンを押しても表示できます。

■ MF アシストの表示を変更する

後ダイヤルを押すごとに、拡大表示が画面一部と画面全体に切り換わります。

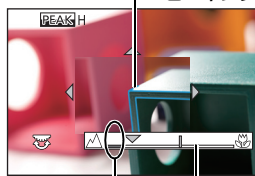
- 後ダイヤルを回すと、拡大表示が画面一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大/縮小できます。後ダイヤルで1倍ずつ拡大/縮小します。

■ MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET] ボタンを押しても終了します。
- マニュアルリングを回して表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

MF アシスト(拡大画面)

ピーキング



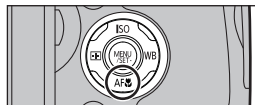
∞(無限)を示す目安 MF ガイド

近づいて撮る (マクロ撮影)

使えるモード：(A) (S) (P) (A) (S) (M) (C1) (C2) (SCN) (M)

1 ▼(AF) ボタンを押す

2 ◀▶ ボタンでモードを選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



[AF]	ズームをもっとも広角(W端)にすると、レンズから3 cmまで接近して撮影できます。
[ZOOM]	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(3 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。 ●通常撮影時よりも画質が劣化します。 ●ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。
[OFF]	—

- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい、被写体にピントが合わない場合がありますので、お気をつけください。

露出やピントを固定して撮る (AF/AEロック)

使えるモード：(A) (S) (P) (A) (S) (M) (C1) (C2) (SCN) (M)

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 被写体に画面を合わせる

2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示



f/c [AF/AE LOCK] ボタンの機能を設定する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [AF/AEロック切換]

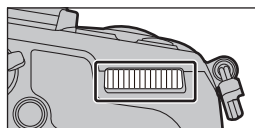
[AE LOCK]	露出だけを固定します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。
[AF-ON]	オートフォーカスが作動します。

露出を補正して撮る

使えるモード: **P A S M** **C1 C2**

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える



2 後ダイヤルを回して露出を補正する



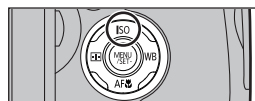
- 露出補正值は-5 EV～+5 EVの範囲で設定可能です。
動画撮影時は-3 EV～+3 EVの範囲で設定可能です。
- 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。

3 後ダイヤルを押して決定する

ISO感度を設定する

使えるモード: **P A S M** **C1 C2**

1 ▲(ISO) ボタンを押す



2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 最大[3200]
ISO (インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適な ISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。 ● 最大[3200]
80※/100※/125/200/ 400/800/1600/3200/ 6400/12800/25600※	それぞれのISO感度に固定します。

※ [拡張ISO感度]を設定時のみ

3 後ダイヤルを押して決定する

明るさの測り方を選ぶ(測光モード)

使えるモード:

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン → [撮影] → [測光モード]

[] (マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[] (中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[] (スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

シャッター方式を設定する

使えるモード:

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	60秒～1/4000秒	1秒～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音 [※] +電子シャッター音	電子シャッター音

※ メカシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [シャッター方式]	
AUTO	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

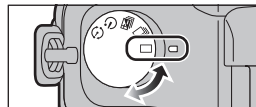
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

ドライブモードを選ぶ

使えるモード:

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
連写	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
オートブラケット(P43)	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
セルフタイマー(P43)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
インターバル/コマ撮り撮影(P44、45)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

連写する

使えるモード:

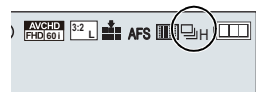
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写速度を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [連写速度]

2 ▲/▼ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[SH](超高速)*	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	AFS	50 コマ/秒	12 コマ/秒	7 コマ/秒	2 コマ/秒
	AFF/AFC	—	7 コマ/秒	7 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写コマ数	RAWファイルあり	—	10 コマ	10 コマ	10 コマ
	RAWファイルなし	最大 60 コマ	カードの空き容量に依存		

* 電子シャッターが働きます。

露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)

使えるモード:

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

補正幅: [3・1 /3]、ブラケット順序: [0/-/ +] 設定時の例

1 枚目



± 0 EV

2 枚目



- 1/3 EV

3 枚目



+ 1/3 EV

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [オートブラケット]

2 ▲/▼ ボタンで [単写/連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。

撮る・見る

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード:

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

■ セルフタイマーの時間を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [セルフタイマー]

2 ▲/▼ ボタンでモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。

- 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

一定の間隔で自動的に撮影する(インターバル撮影)

使えるモード:  P A S M  C1 C2  SCN  G

撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影し、動画を作成することができます。

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P17)
- インターバル撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。

- 1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで[撮影方法]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 5 ▲/▼ ボタンで[インターバル撮影]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 6 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻 設定	撮影を開始する時刻を設定できます。最大23時間59分後まで設定可能です。 ◀/▶ ボタンで項目(時・分)を選び、▲/▼ ボタンで開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。 ◀/▶ : 項目(分・秒・枚)選択 ▲/▼ : 設定 [MENU/SET] : 決定 ●撮影間隔は 1 秒～99 分 59 秒を 1 秒間隔で設定できます。 ●撮影枚数は 1 枚～9999 枚で設定できます。	

- 7 シャッターボタンを半押しする
- 8 シャッターボタンを全押しする

- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。

- 9 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	[4K/30p]、[FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p]
フレーム レート	1秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。 [60fps]※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ※ [FHD/60p] 設定時のみ
動画化 順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

- 10 ▲/▼ ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ インターバル撮影の設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**    

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P17)
- コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。
- 本機では、動画 1 秒あたり 1 コマ～60 コマの写真を撮影する必要があります。

- 1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで [撮影方法] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 5 ▲/▼ ボタンで [コマ撮りアニメ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 6 ▲/▼ ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。
	OFF	1 コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	自動撮影の間隔を設定します。1 秒から60 秒までを1 秒間隔で設定できます。 ◀/▶ ボタンで撮影間隔(秒)を選び、▲/▼ ボタンで設定し、 [MENU/SET] ボタンを押す	

- 7 シャッターボタンを半押しする
- 8 シャッターボタンを全押しする
- 9 被写体を動かし、構図を決める
 - 同様に撮影を繰り返してください。
- 10 撮影を終了するには、[MENU/SET] ボタンを押したあと、撮影メニューから [インターバル/コマ撮り撮影] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい] を選んでください。
- 11 動画の作成方法を選ぶ
 - 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。 [4K/30p]、[FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p]
フレームレート	1 秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。 [60fps] ※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ※ [FHD/60p] 設定時のみ
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

- 12 ▲/▼ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ コマ撮りアニメの設定を変更するには

撮影メニューの [インターバル/コマ撮り撮影] で設定を変更できます。

被写体・目的に合わせた機能

操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)

使えるモード:  **P A S M**  **C1 C2**  **SCN** 

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使って便利です。

MENU ボタン → **fc**[カスタム] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

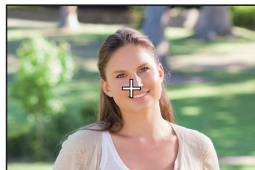
画面の中心を表示する(センターマーカ表示)

使えるモード:  **P A S M**  **C1 C2**  **SCN** 

撮影画面の中心を示す[+]を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するときに便利な表示です。

MENU ボタン → **fc**[カスタム] → [センターマーカ表示]

設定: [ON]、[OFF]



白飛びのおそれがある部分を確認する(ゼブラパターン表示)

使えるモード:  **P A S M**  **C1 C2**  **SCN** 

一定の輝度よりも明るい、白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。縞模様で表示する輝度(明るさ)を設定することもできます。

MENU ボタン → **fc**[カスタム] → [ゼブラパターン表示]

ゼブラ1	右側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
ゼブラ2	左側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
OFF	—	
設定	それぞれの模様での縞模様で表示する明るさを設定します。 [ゼブラ1]/[ゼブラ2] ▲/▼ ボタンで明るさを選び、[MENU/SET] ボタンを押す	

手ブレを補正する

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

O.I.S. スイッチを確実に [ON] に合わせる

■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [手ブレ補正]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
(流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。

ズームを使って撮る

使えるモード:

風景などを広く(広角:W 側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T 側)撮ることができます。

マニュアルリングの場合		ズームレバーの場合	
① マニュアルリング切換スイッチを[ZOOM]に合わせる		ズームレバーを回す	
② マニュアルリングを回す			
● マニュアルリングを操作するとき、O.I.S.スイッチやマニュアルリング切換スイッチを誤って切り換えないようお気をつけください。		● 回す角度が小さいときはズーム速度は遅くなり、大きいときは速くなります。	

光学ズーム

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率: 16 倍

EX 光学ズーム

付きの記録画素数(P36)を選ぶと動きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。

最大倍率: 32 倍 (光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります。)

iA ズーム

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。

MENU ボタン → [撮影] → [iA ズーム] → [ON]/[OFF]

MENU ボタン → [動画] → [iA ズーム] → [ON]/[OFF]

デジタルズーム

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。

MENU ボタン → [撮影] → [デジタルズーム] → [ON]/[OFF]

MENU ボタン → [動画] → [デジタルズーム] → [ON]/[OFF]

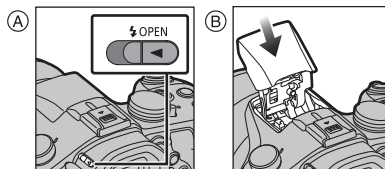
フラッシュを使って撮る

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

① 開くとき

フラッシュオープンレバーをスライドさせる



② 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。

- フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。
- フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。

フラッシュモードを切り換える

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

2 ▲/▼ ボタンで [フラッシュモード] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

: 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
: 赤目軽減強制発光	● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
S : スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして
S : 赤目軽減スローシンクロ	背景の夜景なども明るく写します。

再生メニューを使う

RAW 現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真はJPEG形式で保存されます。効果を確認しながら調整して現像することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [RAW 現像]



2 ◀/▶ ボタンで RAW 画像を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。

ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[☑]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	-1 EV～+1 EVの範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果([スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物])を選べます。
iDレンジコントロール	iDレンジコントロールの設定([強]、[中]、[弱]、[OFF])を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選べます。([フォトスタイル]で[モノクローム]を選択している場合のみ)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定([強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF])を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	以下の設定ができます。 [調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間]: 色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選べます。 [記録画素数]: 保存時のJPEG画像のサイズ([L]、[M]、[S])を選べます。

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。詳しくは、50 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順3の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順3から5を繰り返してください。

6 ▲/▼ ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

■ 各項目の設定方法

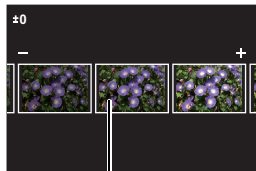
項目を選ばと、設定画面が表示されます。

ボタン操作	操作内容
	調整の選択
▲	色温度設定画面を表示 ([ホワイトバランス] の [] 選択時のみ)
▼	ホワイトバランス微調整画面を表示 ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	操作内容
	調整の選択
[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

[設定] 選択時

項目を選ばと、[調整前に戻る]、[色空間]、[記録画素数]の選択画面が表示されます。

- ▲/▼ ボタンで項目選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [調整前に戻る] を選択時、確認画面が表示されます。[はい] を選ばと実行され、項目の選択画面に戻ります。
- ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [動画分割]

2 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割したい位置で ▲ ボタンを押す

4 ▼ ボタンを押す

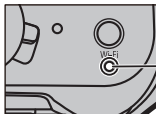
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ばと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

Wi-Fi® 機能を使う

■ 操作の記載方法について

手順で「[履歴から接続する]」を選ぶなどと記載されている場合は、カーソルボタンで「履歴から接続する」を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ

青色点灯: Wi-Fi接続の待機中

青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中

■ [Wi-Fi] ボタンについて

[Wi-Fi]/[Fn2] ボタンは、[Wi-Fi] と [Fn2] (ファンクション2) の2通りの使い方ができます。

お買い上げ時は、[Wi-Fi] が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは 19 ページをお読みください。



撮る・見る

Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを長めに押す

(スマートフォン / タブレットと接続時)

- スマートフォン / タブレットを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID、パスワード) が表示されます。

Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 以下の項目を選択できます。

[新規に接続する]

[履歴から接続する]

[お気に入りから接続する]



Wi-Fi

- 本書では [新規に接続する] を選んだ場合の手順で説明します。

Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと

- 以下の項目を選択できます。

[接続を終わる]

[接続先を変える]

[画像の送信設定を変える] ※

[今の接続先をお気に入りに入れる]

[ネットワークアドレス表示]

※ [スマートフォンとつないで使う]、[TVで見る] または [カメラ内の画像を選んで送る] の送信先が [プリンター] の場合は、表示されません。

- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 3G や LTE 等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。

スマートフォンアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

●対応 OS (2014 年 6 月現在)

Android™: Android 2.3.3 以上※

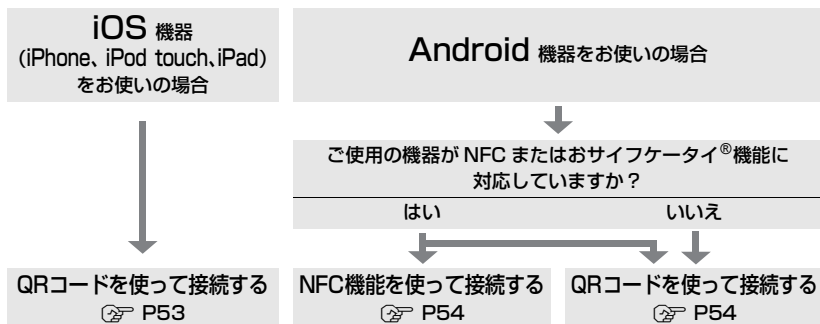
iOS: iOS 5.0 以上

※ [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App StoreSM」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- ご使用になる OS により、画面が異なる場合があります。
- 以降の画面・手順は本機の発売時でのバージョンになります。バージョンアップにより、画面・手順が変更される場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3G や LTE 等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットと接続する



- パスワードを直接入力して接続することもできます。詳しくは 55 ページをお読みください。
- 接続を終了するときは、55 ページをお読みください。

QRコードを使って接続する

1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを長めに押す



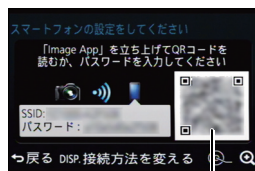
2 スマートフォンで「Image App」を起動する

3 「QRコード」を選び、[OK] を選ぶ



4 カメラの画面に表示されているQRコードを「Image App」で読み取る

- カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試ください。(読み取れない場合は、カメラとスマートフォンの距離を離してためてみるか、QRコード以外の方法で接続してください)



QRコード

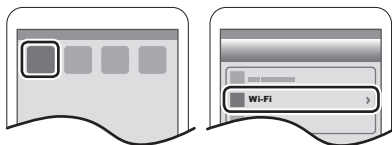
5 「IMAGE APP」のプロファイルをインストールする

- ブラウザにメッセージが表示されます。
- スマートフォンのロック解除のパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。



6 ホームボタンを押してブラウザを終了する

7 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする



8 カメラに表示されたSSIDを選ぶ

9 ホームに戻り、「Image App」を起動する

- 手順 2 ～ 6 は2回目以降は不要です。

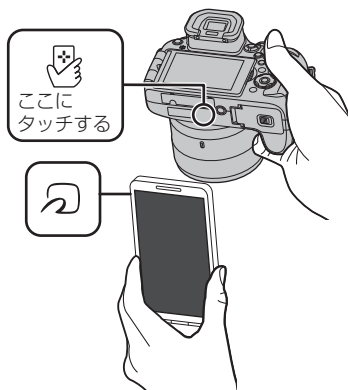
Android機器をお使いの場合

NFC機能を使って接続する

- スマートフォンで、[NFC]が出ない場合は、スマートフォンの NFC 機能が無効になっています。ご使用のスマートフォンの説明書をお読みのうえ有効にしてください。
- Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ®、FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 1 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 2 スマートフォンの画面に[NFC]が表示されている状態で、カメラの[NFC]にスマートフォンの[NFC]をタッチする
- 3 カメラに接続確認画面が表示されたら「はい」を選ぶ
- 4 もう一度、カメラの[NFC]にスマートフォンの[NFC]をタッチする

- 手順 3、4 は2回目以降は不要です。
- NFC対応スマートフォンには、[NFC]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォンの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。

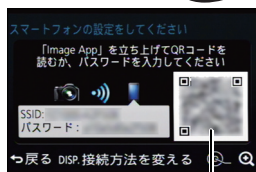


Android機器をお使いの場合

QRコードを使って接続する

- 1 カメラの[Wi-Fi] ボタンを長めに押す
- 2 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 3 [QRコード]を選ぶ
- 4 カメラの画面に表示されているQRコードを「Image App」で読み取る

- カメラの[MENU/SET]ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試ください。(読み取れない場合は、カメラとスマートフォンの距離を離してためしてみるか、QRコード以外の方法で接続してください)



QRコード

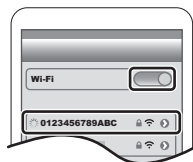
パスワードを入力して接続する

- 1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを長めに押す
- 2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- 3 スマートフォンの画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ



SSID、パスワード

- 4 カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する
 - Android 機器をお使いの場合、パスワードを表示のボックスにチェックを入れておくと、入力中のパスワードを確認しながら入力できます。
- 5 スマートフォンで「Image App」を起動する



Wi-Fi

接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

- 1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを押す (P51)
- 2 スマートフォンで「Image App」を終了する
 - (iOS 端末をお使いの場合)
「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する
 - (Android 端末をお使いの場合)
「Image App」の画面で戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する

スマートフォンで撮影する(リモート撮影)

1 スマートフォンと接続する(P52)

2 スマートフォンを操作する

① [📷]を選ぶ

② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。



カメラの画像を再生する

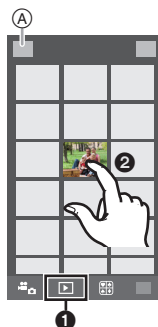
1 スマートフォンと接続する(P52)

2 スマートフォンを操作する

① [▶]を選ぶ

- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。

② 画像をタッチして拡大する



カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する(P52)

2 スマートフォンを操作する

① [▶]を選ぶ

- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。

② 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する

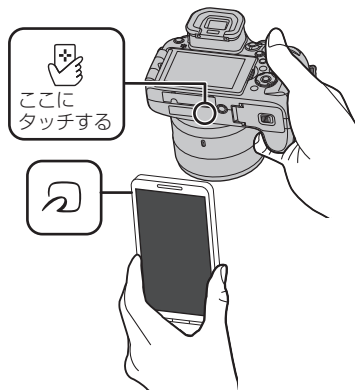
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
- RAW形式の写真、[AVCHD]、画質サイズが4Kの[MP4]の動画は保存できません。



NFC 機能を利用してカメラの画像を保存する

iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad) では、NFC 機能はご使用になれません。

- 1 カメラで画像を再生する
- 2 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 3 「Image App」の接続画面に [📶] が表示されている状態で、カメラの [📶] にスマートフォンの [📶] をタッチする
 - タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 2 の画面を表示してください。
 - 複数の画像を転送する場合は、手順 1、3 を繰り返してください。(一括で転送することはできません)

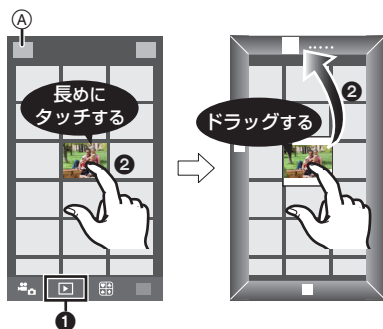


- NFC 機能でスマートフォンと接続後、画像の転送は Wi-Fi 接続で行います。
- 画像の転送中はタッチを続ける必要はありません。カメラを置く場合はレンズを下にして置かないでください。

Wi-Fi

カメラの画像を SNS へ送信する

- 1 スマートフォンと接続する (P52)
 - 2 スマートフォンを操作する
 - 1 [📷] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン (A) で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
 - 2 画像を長めにタッチし、ドラッグして SNS などに送信する
 - SNS などの Web サービスに画像が送信されます。
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



無線アクセスポイントを経由してパソコンと接続する

画像を受信するフォルダーを作成する

パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合

1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする

- 動作環境やインストールについて、詳しくは 61 ページの「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)

対応 OS: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
例) Windows 7

1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする

2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)

対応 OS: OS X v10.5 ~ v10.9

例) OS X v10.8

1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする

「ファイル」→「情報を見る」

2 フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

接続方法の一例を紹介しています。その他の接続方法について詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」をお読みください。

準備:

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す

2 [新規に接続する]を選ぶ

3 送信方法を選ぶ

- 受信するフォルダーを設定しておく必要があります。(P58)



撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

写真を撮るたびに、パソコンに自動で画像を送ることができます。

- 送信できる画像形式: JPEG/RAW

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

撮影後に画像を選んでパソコンに送ることができます。

- 送信できる画像形式: すべての画像形式

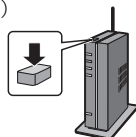
4 [PC]を選ぶ

5 接続方法を選ぶ

[WPS(プッシュボタン)] で接続する例

- ① [ネットワーク経由]を選ぶ
- ② [WPS(プッシュボタン)]を選ぶ
- ③ 無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す

(例)



6 (目的に応じて)カメラを操作する

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

- ① 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ*
- ② カメラで撮影する

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

- ① 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ*
- ② [1 枚設定]または[複数設定]を選び、送信したい画像を選ぶ

※接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名(Apple社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名)を入力してください。

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P51)

- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名(Apple社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名)に変更することをお勧めします。



Wi-Fi

テレビで見る

準備: 本機の電源を切り、テレビの電源も切っておく。

- お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

1 本機とテレビをつなぐ

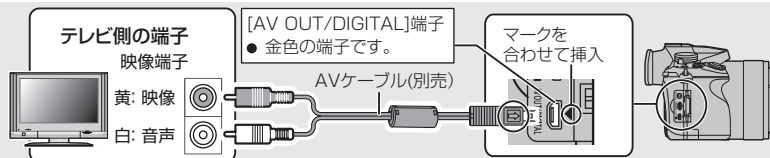
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMI マイクロケーブルで接続する場合



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- 24p動画を再生時は[再生時HDMI出力解像度]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 音声はステレオで再生されます。
- 本機の画面に画像は表示されません。
- [ピエラリンク]が[ON]のときは、本機のボタンを使つての操作は制限されます。

AV ケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。
- 品番: DMW-AVC1
- 音声はモノラルで再生されます。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [ピエラリンク]を[ON]に設定して、HDMIマイクロケーブルでピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。

- 本機のスピーカーからは音声は出ません。
- テレビの説明書もお読みください。

写真や動画をパソコンに残す

■ 使用できるパソコン

マストストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
- Mac の場合: OS X v10.5～v10.9



AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずDVD(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。
ただし、画質設定によっては、取り込みできません。
(iMovieの詳細は、Apple にお問い合わせください)

付属のソフトウェアを使う

付属のDVD には、以下のソフトウェアが収録されています。

パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.5 PE

(Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio 4.1 SE

(Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1、
Mac OS X v10.5/v10.6/v10.7/v10.8/v10.9)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版

(Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

LoiLoScopeは、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみにになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
使い方 Web サイト:<http://loilo.tv/product/20>

■ ソフトウェアをインストールする

- DVDを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) Windows® 8.1(32 bit/64 bit)	
CPU	Windows® XP	Pentium® Ⅲ 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® Ⅲ 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® Ⅲ 1 GHz以上
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ディスプレイ		
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio」の動作環境は、61 ページのサポートサイトをお読みください。

2 DVDを入れる

3 インストールメニューが表示されたら、[アプリケーション]をクリックする

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1 ではDVDを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。

- ① DVDを入れる
- ② DVDの「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする



こんなときは使えません

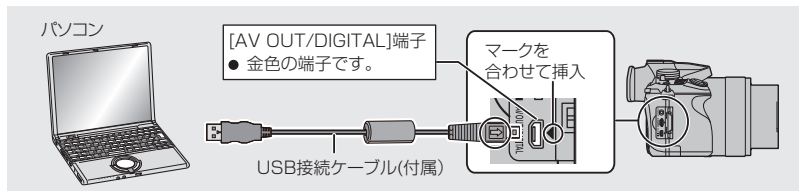
- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

■ パソコンに画像を取り込む

準備: お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にとすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売: DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ボタンで[PC]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

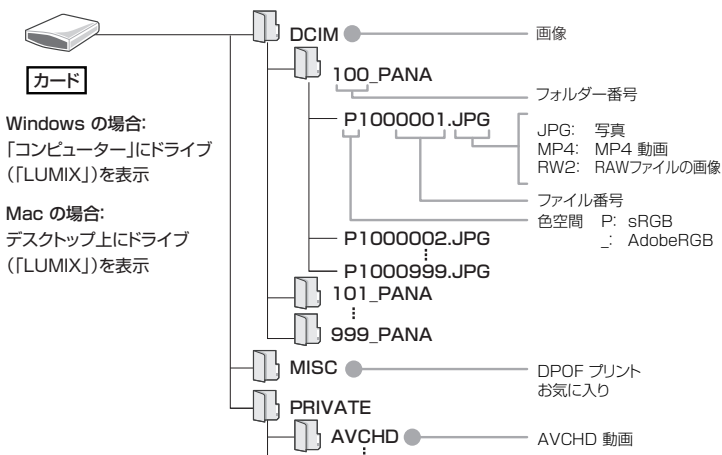
- セットアップメニューで[USBモード]を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

■ 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。



別売品のご紹介

バッテリーパック	DMW-BLC12
バッテリーチャージャー※1	DMW-BTC6
ACアダプター※2	DMW-AC10
DCカブラー※2	DMW-DCC8
フラッシュライト	DMW-FL360L、DMW-FL580L
シャッターリモコン	DMW-RSL1
LED ビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
MCプロテクター	DMW-LMCH62
NDフィルター	DMW-LND62
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL62
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
AV ケーブル	DMW-AVC1

※1 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き

※2 DCカブラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

●別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

記載の品番は2014年6月現在のものです。変更されることがあります。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

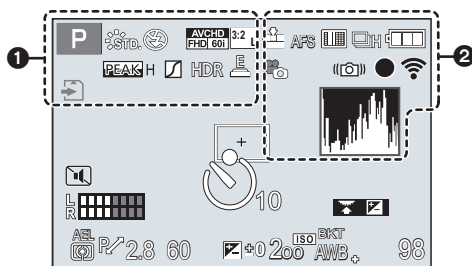
<http://jp.store.panasonic.com/>

モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 画面はモニターで表示画面を「」(モニタースタイル)に設定時の例です。

■ 攝影時



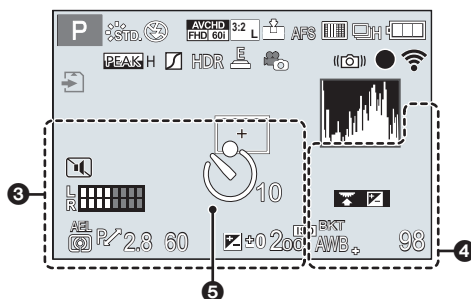
1

 	撮影モード(P20)
C 1	カスタムセット(P34)
 	フォトスタイル
	クリエイティブコントロール調整表示
	フラッシュモード(P48)
	フラッシュ設定
	記録方式/画質設定(P21)
	記録画素数/画像横縦比(P36)
	カード(記録時のみ表示)
XXmXXs	記録経過時間* ¹ (P21)
	同時記録表示
LVF/ MON/AUTO	ファインダー/モニター 自動切換(P14)
PEAKS H PEAKS L	ピーキング
	ハイライトシャドウ
HDR	HDR
	多重露出
	電子シャッター

2

 RAW	クオリティ (P36)
120fps	ハイスピード動画
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード (P37)
	オートフォーカスモード (P37)
	個人認証
AFL	AFロック (P39)
	連写 (P42)
	オートブラケット (P43)
	セルフタイマー (P43)
	インターバル撮影 (P44)
	コマ撮りアニメ (P45)
	バッテリー残量
	写真撮影 (写真優先)
	輝度レベル設定
AF 	マクロ撮影 (P39)
	動画傾き補正
	手ブレ補正 (P47)
	手ブレ警告
	記録動作 (赤点滅) / フォーカス (緑点灯) (P20)
	フォーカス (低照度時)
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示

その他・Q & A



3

名前※2
トラベル経過日数※2
月齢/年齢※2
旅行先※2
現在日時/旅行先設定※2:

	AFエリア
+	スポット測光ターゲット(P41)
	セルフタイマー※3(P43)
	サイレントモード(P46)
	外部マイク
	ズームマイク
	マイクレベル表示
LIMIT OFF	マイクレベルリミッター(OFF)
AEL	AEロック(P39)
	測光モード(P41)
P	プログラムシフト(P29)
2.8	絞り値
60	シャッタースピード
	露出補正値(P40)
±0	明るさ(P28)
	マニュアル露出アシスト(P31)
200	ISO感度(P40)

4

	ダイヤル操作ガイド
BKT AWB +	ホワイトバランスブラケット ホワイトバランス微調整
	ホワイトバランス(P35)
	色合い(P28)
98	記録可能枚数※4(P16)
残XXmXXs	記録可能時間※1,4(P17)

5

露出メーター(P29)
ズーム表示

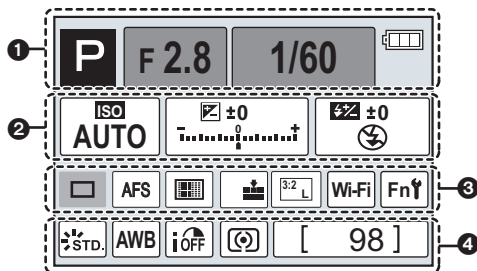
※1 m は「minute(分)」, s は「second(秒)」を省略した表示です。

※2 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

※3 カウントダウン中に表示されます。

※4 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

モニター撮影情報画面



1

					撮影モード(P20)
F2.8	絞り値(P30)				
1/60	シャッタースピード(P30)				
	バッテリー残量				

2

	ISO 200	ISO感度(P40)
	±0	露出補正値(P40)
	±0	明るさ(P28)
	±0	マニュアル露出アシスト(P31)
		フラッシュモード(P48)
		フラッシュ設定

3

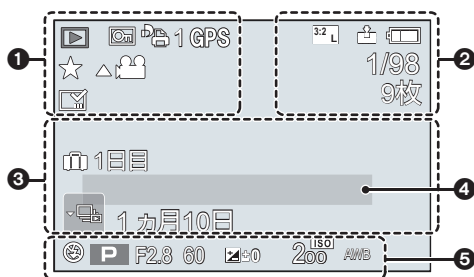
	単写(P42)
	連写(P42)
	オートブラケット(P43)
	セルフタイマー(P43)
	インターバル撮影(P44)
	コマ撮りアニメ(P45)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P37)
	オートフォーカスモード(P37)
	クオリティ(P36)
	記録画素数/画像横縦比(P36)
Wi-Fi	Wi-Fi(P51)
Fn	ファンクションボタン設定(P19)

4

	フォトスタイル
	ホワイトバランス(P35)
	iDレンジコントロール
	測光モード(P41)
98	記録可能枚数(P16)
残XXmXXs	記録可能時間(P17)

その他・Q & A

再生時



1

	再生モード
	プロテクト
	プリント枚数
GPS	位置情報
	お気に入り表示
	ケーブル切断禁止アイコン
	動画再生 (P24)
	パノラマ再生
	連写グループ連続再生
	インターバル撮影グループ連続再生
	コマ撮りグループ連続再生
	文字焼き込み済み表示
XXmXXs	再生経過時間※ ¹ (P24)

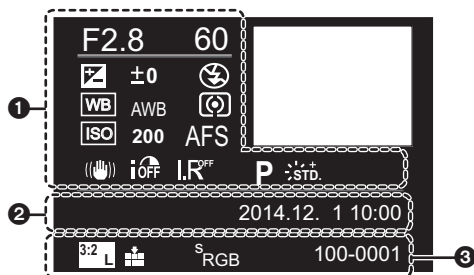
2

	記録画素数/画像横縦比 (P36)
	記録方式/画質設定 (P21)
	クオリティ (P36)
120fps	ハイスピード動画
	輝度レベル設定
	バッテリー残量
1/98	画像番号/トータル枚数
9枚	連写枚数
XXmXXs	動画記録時間※ ¹ (P24)

3

	情報取得中アイコン
	トラベル経過日数
	連写グループ表示
	インターバル撮影グループ表示
	コマ撮りグループ表示
	サイレントモード (P46)
1ヵ月10日	月齢/年齢
4	
	名前※ ²
	旅行先※ ²
	タイトル※ ²
5	
	撮影情報※ ³

詳細情報表示



①

撮影情報

iOFF	iDレンジコントロール※ ³
HDR ON	HDR ※ ⁴
L.R ^{FF}	超解像

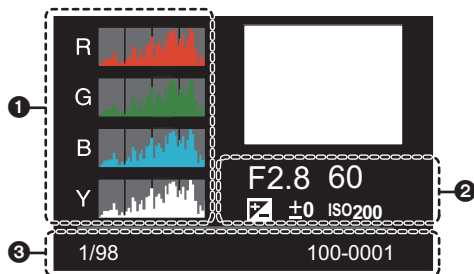
②

撮影日時/ワールドタイム

③

3:2 L	記録画素数/画像横縦比
RAW	クオリティ (P36)
AVCHD (FHD 60)	記録方式/画質設定 (P21)
120fps	ハイスピード動画
輝度	輝度レベル設定
sRGB	色空間※ ⁴
100-0001	フォルダー・ファイル番号※ ³

ヒストグラム表示



①

ヒストグラム (P24)

②

撮影情報※³

③

1/98	画像番号/トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号※ ³ (P63)

※1 m は「minute(分)」, s は「second(秒)」を省略した表示です。

※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん/ペット)、[名前] (個人認証) の優先順位で表示されます。

※3 [AVCHD] で撮影した動画には表示されません。

※4 撮影した動画には表示されません。

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。

ここではその主なメッセージを例として説明しています。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くのメッセージ表示が記載されていますので、併せてご確認ください。

消去できない画像があります/この画像は消去できません

DCF規格に準拠していない画像は消去できません。

パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P16)してください。

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。(P16)

カードを入れ直してください/別のカードでお試してください

- カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。
- カードが破壊されている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試してください。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

アクセスポイントの接続に失敗しました/接続できませんでした/ 送信先が見つかりませんでした

- 無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
 - 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。
 - 無線アクセスポイントの電源が入っていません。
 - 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- 接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信できる画像がありません

送信先の制限によって、送信できる画像が1つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。

メニュー一覧

撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[iAズーム]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。(P35)
記録画素数	記録画素数を設定します。(P36)
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。(P36)
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。(P37)
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。(P41)
連写速度	連写時の連写速度を設定します。(P42)
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。(P43)
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。(P43)
インターバル/ コマ撮り撮影	インターバル撮影とコマ撮りアニメの撮影時の設定を行います。(P44、45)
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影します。
i手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。(P27)
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。(P27)
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
多重露出	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。
パノラマ設定	パノラマ撮影の撮影方向と画像効果を設定します。
シャッター方式	メカシャッターと電子シャッターを使い分けて撮影することができます。(P41)
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。(P48)
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
ISO感度上限設定	ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。
拡張ISO感度	設定できるISO感度の数値を拡張することができます。

長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。
iA ズーム	画像の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げることができます。(P48)
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。(P48)
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。(P47)
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。

動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。(P21)
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。(P21)
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。(P32)
ハイスピード動画	超高速撮影を行うことにより、スローモーション動画を撮影することができます。
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
動画傾き補正	動画撮影時のカメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平にします。
輝度レベル設定	動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。
マイクレベル設定	音声入力レベルを 19 段階に調整します。
専用マイク設定	ステレオガンマイク(別売)接続時の収音方法を設定します。
マイクレベルリミッター	音声入力レベルを自動的に調整します。
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。
ズームマイク	ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

カスタム

画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。(P34)
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。(P46)
AF/AEロック切換	AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。
AF/AEロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。
シャッター半押しAF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。
シャッター半押しレリーズ	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。
クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
アイセンサーAF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
ダイレクトフォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。
フォーカス/レリーズ優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手でピントを合わせることができます。
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。
MFガイド	手でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。
ピーキング	手でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
センターマーカー表示	撮影画面の中心を示す[+]を表示します。(P46)
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。(P46)
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。
常時プレビュー(Mモード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。

露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。(P29)
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。
LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。(P22)
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を設定します。(P22)
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を表示します。
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
ファンクション Fn ボタン設定	特定のボタンに、よく使う機能を割り当てることができます。(P19)
ズームレバー	ズームレバーのズーム動作を設定します。
マニュアルリング (ズーム)	マニュアルリングのズーム動作を設定します。
ズーム位置メモリー	電源を切ったときのズーム位置を記憶します。
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。(P21)
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定します。
メニューガイド	モードダイヤルを  /  に切り換えたとときに表示される画面を設定します。

セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P17)
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
電子音	電子音や電子シャッター音の音量を設定します。
ライブビューモード	撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。
モニター調整/LVF調整	モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。
USBモード	USB 接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。
テレビ接続設定	テレビなどとの接続のしかたを設定します。

メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。
バージョン表示	本体のファームウェアバージョンを確認できます。
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源切時に露出補正量をリセットすることができます。
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fi メニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。(P16)

再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。
位置情報記録	スマートフォンから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。
RAW 現像	RAW形式で撮影した写真をカメラでJPEG形式で現像できます。(P49)
タイトル入力	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	撮影した動画を2つに分割します。(P50)
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。(P44)
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りグループから動画を作成します。(P45)
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で90°ずつ回転させます。
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

Q & A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P76～79)をお試ください。

それでも解決できない場合は、セットアップメニューの[設定リセット]を行うと症状が改善する場合があります。

これらの処置をしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(P90)をお読みください。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くの Q & A が記載されていますので、併せてご確認ください。

電源を入れても動作しない。またはすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。
→ 充電してください。
- 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
→ [エコモード]を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

電源が勝手に切れる。

- ピエラリンク(HDMI)の連動操作が働いていませんか？
→ ピエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ピエラリンク]を[OFF]に設定してください。

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。
- 手ブレや被写体ブレしています。
- [フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていませんか？
- [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていませんか？
- 不適切な状態でAFロック(P39)がかかっていませんか？

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。
→ 本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P19)
- 遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー(P43)を使って撮影してください。

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。被写体がゆがんで見える。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがあります。
- 電子シャッターで撮影していませんか？
→ 電子シャッター使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカー軽減]を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。クリエイティブ動画モード(P32)でも手動でシャッタースピードを設定できます。

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波（電波塔、高圧線など）により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じていませんか？フラッシュを開いてください。（P48）
- 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。
→ [シャッター方式] を [AUTO] または [メカシャッター] に設定してください。
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。（P46）
→ [サイレントモード] を [OFF] に設定してください。

再生できない。撮影した画像がない。

- カードは入っていますか？
- カードに再生できる画像はありますか？
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。
→ パソコンからカードに画像を書き込む場合は、DVD（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード] を設定していませんか？
→ [通常再生] に設定してください。

フォルダー・ファイル番号が[－]で表示されたり、画面が黒くなる。

- 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？
- 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？
→ このような画像を消去するには、バックアップをとりフォーマットしてください。

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- セットアップメニューの [Wi-Fi 設定リセット] をお試しください。
- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか?
→ 同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
 - 本機と無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
 - 本機の向きを変えてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
 - [マニュアル入力]を行ってください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1~11チャンネルの中から選び、設定してください。
 - 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。
- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください)
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか?
 - 5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

パソコンに画像を送信できない。

- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。
ローカルアカウントを設定していない場合は、ローカルアカウントを設定してください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
- 画像のサイズが大きすぎませんか？
→ [送信サイズ] で画像サイズを小さくして送信してください。
→ [動画分割] (P50) で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。
- Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
→ 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

テレビで動画の再生ができない。

- カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？
→ AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブルをテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P60)

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- HDMIマイクロケーブルで正しく接続されていますか？ (P60)
- 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？
→ 入力切換が自動で切り換わらない場合はテレビのリモコンを使って入力切換してください。
→ 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。
→ テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)

レンズ部から音がする。

- 電源入りまたは切り時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

本機が熱くなる。

- ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→ 「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P17)

ズームの動きが一瞬止まる。

- EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

使用上のお願い

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くが記載されていますので、併せてご確認ください。

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売: DMW-AC10)、DCカプラー(別売: DMW-DCC8)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- マニュアルリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

モニター/ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点や白い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さえないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 持ち運びときは、レンズを収納してください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



Li-ion 20

充電式

リチウムイオン
電池使用

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブル、または当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外には使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie, Mac, Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPad, iPod, iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2”は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- ㊤ は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェアの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



AVCHD™
Progressive



PictBridge
USB LAN WLAN
✓ — ✓

Wi-Fi®
CERTIFIED



DLNA
CERTIFIED™

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、Wi-Fi メニューの[認証情報]で確認できます。

下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス) ご相談窓口

365日
受付時間: 9時~20時

電話 フリー
ダイヤル



0120-878-638

パナは ルミックスバチ!

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**

■ FAX
フリーダイヤル **0120-878-236**

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- 1 セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ
- 2 Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ
- 3 ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 8.4 V
消費電力	2.4 W (モニター撮影時)
	2.8 W (ファインダー撮影時)
	1.7 W (モニター再生時)
	1.7 W (ファインダー再生時)

カメラ有効画素数	2010万画素
撮像素子	1型 MOSセンサー 総画素数 2090 万画素、 原色カラーフィルター
レンズ	光学 16倍ズーム f=9.12 mm～146 mm (35 mmフィルムカメラ換算：25 mm～400 mm) W 端時：F2.8 ～ F8.0 (動画撮影時：F2.8 ～ F11) T 端時：F4.0 ～ F8.0 (動画撮影時：F4.0 ～ F11)
手ブレ補正	光学式
撮影範囲	AF： 30 cm(W 端時) / 1 m(T 端時)～∞ AF マクロ/MF/インテリジェントオート/動画： 3 cm (W端時) / 1 m (T端時) ～∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
最低被写体照度	約 9 lx (i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒)
シャッタースピード	写真：B (バルブ) (最大約 120 秒)、60 ～ 1/4000 秒 (メカシャッター使用時) 1 ～ 1/16000 秒 (電子シャッター使用時) 動画：1/25 ～ 1/16000 秒 (AVCHD で FHD/24M/24p 設定時) 1/2～1/16000 秒 (クリエイティブ動画モードで [M] を選択時、MF) 1/30 ～ 1/16000 秒 (上記以外)
露出	プログラム AE (P)、絞り優先 AE (A)、シャッター優先 AE (S)、 マニュアル露出 (M)、オート 露出補正 (1/3 EV ステップ、-5 EV ～ +5 EV)
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光
モニター	3.0 型 TFT 液晶 (3:2) (約 92 万ドット) (視野率約 100%)
ファインダー	カラー有機 EL ライブビューファインダー (4:3) (約 236 万ドット) (視野率約 100%) (視度調整付き -4 ～ +4 diopter)
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減強制発光 / スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード / SDHC メモリーカード※ / SDXC メモリーカード※ ※ UHS-I UHS Speed Class 3 対応

仕様 (続き)

記録画像ファイル形式 写真 動画	RAW/JPEG (DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF 対応) AVCHD Progressive/AVCHD/MP4
音声圧縮方式	AVCHD : Dolby® Digital (2ch) MP4 : AAC (2ch)
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0 (High Speed) NTSC コンポジット オーディオライン出力 (モノラル)
端子 MIC REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI	Ø3.5 mm ジャック Ø2.5 mm ジャック 専用ジャック (8pin) microHDMI Dタイプ
寸法	約 幅 136.8 mm×高さ 98.5 mm×奥行き 130.7 mm (突起部除く)
質量	約 831 g (カード、バッテリー含む) 約 780 g (本体)
推奨使用温度	0 °C～40 °C
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし (日本語のみ)

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11 b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz～2462 MHz (1～11ch)
暗号化方式	Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

NFC 部

準拠規格	JIS X 6319-4
------	--------------

専用バッテリーチャージャー: DE-A79A

定格入力	100 V～240 V 50/60 Hz
入力容量	14 VA (100V)～22VA (240V)
定格出力	DC 8.4 V 0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLC12

電圧/容量	7.2 V/1200 mAh
-------	----------------

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、DVD(付属)の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。
パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、DVD(付属)を入れる
- 2 インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書]をクリックする
- 3 [日本語]が選ばれている状態で、[取扱説明書]をクリックしてコピーする
- 4 デスクトップの[取扱説明書]のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)が開けないときは

取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、DVD(付属)を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。

(対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。

<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

■ 取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)をアンインストールするには

"Program Files¥Panasonic¥Lumix¥" フォルダ内のPDFファイルを削除してください。

■ Macの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、DVD(付属)を入れる
- 2 DVDの「Manual」フォルダーを開く
 - 「Manual」フォルダーがもう一度表示されます。
- 3 表示された「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダーの中のPDFファイルをコピーする
- 4 PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきますと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	家電情報をまとめて登録／管理 購入年月や製造番号などを My 家電リストに保存できます。
ご登録特典 2	商品情報をスムーズに入手 Q&A や取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典 3	エンジョイポイントがたまる たまったポイントでプレゼントに応募できます。

お問い合わせ先：

CLUB Panasonic 事務局 (club-info @ panasonic.jp)

ご登録手順

下記のどちらかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/>

■ 携帯電話からの登録方法

● 二次元バーコードを使ってアクセスする場合



● URL を入力してアクセスする場合

<http://mobile.club.panasonic.jp/>

※ 携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■ スマートフォンからの登録方法

パナソニックが提供するスマートフォン専用アプリを使うとさらに簡単に登録できます。詳しくは 89 ページをご覧ください。

パナソニックスマートアプリのご案内



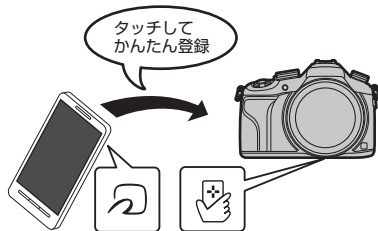
パナソニックスマートアプリについて

パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

パナソニックスマートアプリで「ご愛用者登録」をする

スマートアプリを使うと、スマートフォンとカメラをタッチするだけで、簡単にご愛用者登録ができます。

- タッチで登録するには、お使いのスマートフォンが NFC 機能を搭載している必要があります。
- カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント(無線 LAN ルーター)につないで、ご愛用者登録することもできます。



パナソニックスマートアプリで取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



- カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリも一括で管理できます
- お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら

<http://panasonic.jp/pss/ap/>



- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用にはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応OSやサポート機種は上記サイトでご確認ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな? と思ったら」(70 ページと 76 ~ 79 ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド(PDF形式))でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品番	DMC-FZ1000
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

(但し、DVD内のソフトウェアの内容は含みません)

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口		365日 受付9時~20時
電話	フリーダイヤル	パナは ルミックスバチ!
		0120-878-638
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。		

● パナソニックスマートアプリの使いかたなどの相談は

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト	
http://panasonic.jp/pss/ap/	
パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。	

スマートフォンを使った タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口		365日 受付9時~20時
電話	フリーダイヤル	パナは ハチサンニ
		0120-878-832
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。		

● 宅配修理サービスのご案内(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道 地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏 地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	川口	☎ (048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5303-6901	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	秋葉原	☎ (03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	立川	☎ (042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市中瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶯4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	茨木	☎ (072)624-8501	茨木市松下町1番1号
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
中国地区	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
四国地区	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
九州地区	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
沖縄地区	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0514

その
他・
Q &
A

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！	
	こんな症状はありませんか ・ 煙が出たり、異常なおいや音がある ・ 映像や音声乱れたり出ないことがある ・ 内部に水や異物が入った ・ 本体やチャージャーが破損した ・ その他の異常や故障がある
	ご使用中止 故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください



<http://club.panasonic.jp/>



※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・
お手入れ・修理に
関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック LUMIX(ルミックス) ご相談窓口 365日
受付9時～20時

電話 フリー
ダイヤル



パナは ルミックスパチ！
0120-878-638

※携帯電話・PHSからでもご利用になれます。

■上記番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■FAX
フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■宅配修理サービスのご案内(Web サイトからお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

- お申し込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。

(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2014

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.



Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DMC-FZ1000		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 (但し、DVD 内のソフトウェアの内容は含みません)		
※ お買い上げ日	年	月	日
※ お客様	ご住所 お名前 電 話 () —		
※ 販 売 店	住所・販売店名 電 話 () —		

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

